

研究活動報告

List of research activities

(2008年1月1日～2008年12月31日)

ここに収録された題目及びその概要は、学内研究者の発表したもののうち、2008年1月1日より2008年12月31日迄の期間に刊行されたものに限り、論文の性質、発表機関などには一切制限を加えず、すべて規定の用紙で提供された原稿のまま掲載した。なお、掲載順序は、提出順とした。

木藤 友規

〈学会発表〉

手根関節伸張反射において橈尺関節角度が協働筋反射活動に与える影響, 木藤友規, 井桁良平, 遠藤隆志, 米田継武, 第85回日本生理学会大会, 2008年3月

協働筋反射変調における脊髄上位中枢制御の必要性について検証した。

両手協調運動時の同時性判断における知覚特性, 木藤友規, 辻川比呂斗, 小倉裕司, 米田継武, 第16回日本運動生理学会大会, 2008年8月

両手協調運動時の同時性判断において、個人の感覚処理特性と運動時の時間知覚特性の関連性について報告した。

同一力発揮反復と筋放電変動, 緒方惟真, 大川裕介, 木藤友規, 米田継武, 第16回日本運動生理学会大会, 2008年8月

力発揮目標を同じとする時の筋へ伝えられる命令の変動性について報告した。

片手での素早い力発揮に付随する反対側筋活動について, 米田継武, 木藤友規, 歳納繁太, 第20回日本バイオメカニクス学会大会, 2008年8月

片手運動時でも反対側の手に筋活動が観察される事がある。本研究ではその出現特性について調査した。

Temporal reference for simultaneity judgment of bi-manual repetitive finger movements, Kito T, Tsujikawa H, Ogura Y, Yoneda T. *Neuroscience* 2008, 2008年11月, Washington

両手運動時のタイミング判断には遠心性の情報が優位に使われる可能性と、求心性情報との関連性について報告した。

吉儀 宏

原著論文

前後方向動体視力と視覚誘発電位の関連. 順天堂医学 53, 615-621, 2007

Effect of bunt training employing monocular vision on kinetic and dynamic visual acuity and bunt performance in college baseball players. *Human Performance Measurement* Vol. 4. 17-24. 2007

Kinetic Visual Acuity and Reaction Time in Male College Students. *Human Performance Measurement* 4, 25-30. 2007

Developments of a Baseball Specific Battery of Tests and a Testing Protocol for College Baseball Players. *The Journal of Strength and Conditioning Research*, 22 (4), 1051-1058, 2008.

黄色ソフトコンタクトレンズの使用と大学野球選手の視機能及び打撃能力. *日本臨床スポーツ医学会誌*, 16 (3), 414-419, 2008.

The Relationship between Dynamic Visual Acuity and Saccadic Eye Movement. *Human Performance Measurement*. 5, 23-30, 2008.

著書

陸上競技審判ハンドブック2009-2010年版(日本陸上競技連盟編) あい出版 2009年3月

中村 充

〈学会発表〉

大学柔道選手の攻撃性に関する研究：前川直也，江田茂行，山本真巳，菅波盛雄，廣瀬伸良，中村 充，日本武道学会第41会大会号，平成20年8月，p1. “廣瀬伸良”の項参照

中村 勝二

著書

実践「介護等の体験」ハンドブック 渡邊映子，中村他4名 プレーン社 2008. 5 1～7, 60～64 及び「介護等の体験ノート」作成

論文

特別支援学校における効果的な教育実習の実践 渡邊貴裕，中村他2名 発達障害支援システム学研究 第7巻第1号 2008. 3 19～29

学会発表

視覚障害を伴うダウン症幼児への教育支援に関する研究 渡邊貴裕他6名 第46回・日本特殊教育学会 2008. 9. 20 著書

河合 祥雄

著書

イラストで学ぶ循環器看護 株式会社メディカ出版，大阪府 原著

岩本正姫，小山良治，小池 朗，加藤祐子，丸山麻子，中島宣行，河合祥雄，高山重光 高血圧患者におけるFAXを用いた双方向の運動・食事療法が血圧に及ぼす影響 日本臨床スポーツ医学会誌 26(2): 234-240, 2008.

山本正彦，河合祥雄，宇都宮健太，鈴木大地，片山桂一，染谷由希 スノーケルを用いた吸気筋トレーニングが水泳パフォーマンスに及ぼす影響 水と健康医学研究会誌 11巻(1号): 9-13, 2008

金子今朝秋，河合祥雄，中丸信吾 投てき競技者における冬季心拍変動および各種バイオマーカーの変化 陸上競技研究 75(4): 36-42, 2008

総説

河合祥雄 分離型大動脈弁下狭窄 循環器症候群(第2

版)Ⅳ—その他の循環器疾患を含めて—，別冊日本臨床，新領域別症候群シリーズ No. 7 269-272, 2008.

河合祥雄 心内膜心筋線維症 循環器症候群(第2版)Ⅲ—その他の循環器疾患を含めて—，別冊日本臨床，新領域別症候群シリーズ No. 6 183-185, 2008.

河合祥雄 特発性肥厚性大動脈弁下狭窄 循環器症候群(第2版)Ⅲ—その他の循環器疾患を含めて—，別冊日本臨床，新領域別症候群シリーズ No. 6 227-230, 2008.

河合祥雄 急死の考え方 保健の科学 50(9): 580-585.

河合祥雄 心筋症の病理の包括的理解—心筋症の病理像は一つではない— 医学のあゆみ(第一土曜特集) 226(1): 心筋症—基礎と臨床: Up to Date—22-27, 2008

河合祥雄 【心筋症の最前線】識る 特定心筋症 update たこつぼ型心筋障害 Heart View12(8): 956-961, 2008 報告書その他

河合祥雄 たこつぼ心筋症の予後全国調査 厚生労働省難治性克服研究事業：特発性心筋症に関する調査研究〈友池班〉 2007年度報告書 72-73, 2008. 3

岩井秀明，形本静夫，河合祥雄，山倉文幸，加納達二，信太直己，雨宮有子，池田啓一 千葉県血清研究所記念保健医療福祉基金調査研究事業 「近未来の生活習慣病予防対策」報告書 編集・発行 岩井秀明・順天堂大学 記事

河合祥雄，小林義雄 武術の動作で筋トレだ！ 武術を用いた高齢者のトレーニング コーチング・クリニック 22(10): 27-31, 2008

学会発表講演

報告

河合祥雄，鈴木大地，山本正彦，片山桂一，宇都宮健太 呼吸抵抗負荷，スノーケル吸気筋トレーニングが呼吸機能，水泳競技能力に及ぼす影響 第11回 水と健康医学研究会，東京，一橋，如水会館

河合祥雄，山田京志，鈴木宏昌，長浜真人 たこつぼ心筋症発症仮説の病理形態学的検討 厚生労働省難治性克服研究事業：特発性心筋症に関する調査研究〈北風班〉2008年度班会議

山本正彦，河合祥雄，鈴木大地，片山桂一，染谷由希 異なる吸気筋トレーニングが水泳能力に及ぼす影響 第63回日本体力医学会大会(倉掛重精大会長)

桜庭景植

【原著】

Takahiro Sumide, Keishoku Sakuraba, Keisuke Sawaki,

Hirotohi Ohmura, Yoshifumi Tamura:

Effect of resistance exercise training combined with relatively low vascular occlusion.

J Science and Medicine in Sports, doi: 10.1016/j.jsam.2007.09.009, 2008.

J Science and Medicine in Sports, 12: 107-112, 2009.

Atsushi Kubota, Keishoku Sakuraba, Keisuke Sawaki, Takahiro Sumide, Yoshifumi Tamura:

Prevention of disuse muscular weakness by restriction of blood flow.

Medicine & Science in Sports & Exercise, 40: 529-534, 2008.

Yusaku Sugiura, Tomoyuki Saito, Keishoku Sakuraba, Kazuhiko Sakuma, Eiichi Suzuki:

Strength deficits identified with concentric action of the hip extensors and eccentric action of the hamstrings predispose to hamstring injury in elite sprinters.

J Orthopaedic & Sports Physical Therapy, 38 (8): 457-464, 2008.

Yuko Sakamoto, Keishoku Sakuraba:

Snowboarding and Ski Boarding Injuries in Niigata, Japan.

Am J Sports Med, 36 (5): 943-948, 2008.

Kohmura Y., Aoki K., Yoshigi H., Sakuraba K., and Yanagiya T.:

Development of a Baseball Specific Battery of Tests and a Testing Protocol for College Baseball Players.

The Journal of Strength and Conditioning Research, 22 (4): 1051-1058, 2008.

桜庭景植：腸脛靭帯炎。発症メカニズムとその予防・再発予防。臨床スポーツ医学，25臨時増刊号：256-260，2008。

桜庭景植，石川拓次；

女子長距離ランナーの骨塩量および骨代謝マーカーと疲労骨折に関する研究。

デサントスポーツ科学，29: 183-189, 2008.

桜庭景植，吉本完明，倉石平，竹内敏康，鹿倉二郎，Andy Williams, Yuriko Atsumi, Patric O'Sullivan, Melanie Gran:

学生スポーツに対するメディカルサポートの問題点と対策。

Medical Support for Collegiate Athletes.

日本整形外科スポーツ医学会雑誌 Jpn J Orhtop Sports Med 28 (4): 249-254.

丸山麻子，桜庭景植，石川拓次，角出貴宏，窪田敦之，澁谷尚弘：

高校野球における地域差による傷害発生要因の検討。

日本臨床スポーツ医学会誌，16 (1): 79-85, 2008.

河村剛光，村上茂樹，吉儀宏，桜庭景植，青木和浩：

黄色コンタクトレンズの使用と大学野球選手の視機能及び打撃能力。

日本臨床スポーツ医学会誌，16 (3): 414-420, 2008.

久保田光昭，桜庭景植，池田浩，高澤祐治，川崎隆之，

石島旨章，森尾秀徳，瀬戸宏明，中川匠，黒澤尚：

膝離断性骨軟骨炎に対する生体吸収性ピンを用いた観血的整復固定術の成績。

膝，32 (2), 213-216, 2007.

【著書】

桜庭景植；アスリートのためのコンディショニング。下腿部の傷害について。

月間陸上競技 2008年6月号 p. 139-141, 2008.

桜庭景植：膝関節スポーツ障害の画像診断—使いすぎによる障害を中心に—。

関節外科，27 (6): 744-755, 2008.

【総説】

桜庭景植：スポーツ障害のリハビリテーションの目指すもの。

臨床と研究，85 (10): 1376-1380, 2008.

【国際学会賞受賞】

Keishoku Sakuraba, Takahiro Sumide:

Effect of low-intensity resistance exercise training with lower vascular occlusion pressure.

24th SICOT world meeting, August 24-28, HongKong, 2008.

【国際学会発表】

Keishoku Sakuraba, Atsushi Kubota, Keisuke Sawaki:

The effect of periodic restriction of blood flow on disuse muscular atrophy and weakness.

2008 AAOS (American Academy of Orthopaedic Surgeon) annual meeting, 3.4-9, 2008, San Francisco, USA, 2008.

Atsushi Kubota, Keishoku Sakuraba, Keisuke Sawaki, Yuji Ogura, Yoshifumi Tamura:

External compressive force level influences positive effect of blood flow restriction on muscle weakness.

55th ACSM (American College of Sports Medicine), 5.28-31, 2008, Indianapolis, USA, 2008.

Medicine & Science in Sports & Exercise, 40 (5): s266, 2008.

【講演】

桜庭景植；スポーツ行事と安全管理～現場における救急処置～

日本体育協会公認スポーツドクター講習会，東京，2月3日，2008

桜庭景植：トップアスリートのメディカルサポート。

第4回OSR大分スポーツ医学セミナー。3月22日，大分，2008。

桜庭景植：トップアスリートに対する医科学サポート～アスレチックトレーナーとの連携，アスレチックリハビリテーションを含めて～。

第4回山梨リハビリテーション研修会。4月19日，甲府，2008。

桜庭景植；職域や地域で簡単に出来る運動療法—筋力トレーニングの実際—。

第17回健康スポーツ医学研修会。東京都医師会，6月15日，東京，2008。

桜庭景植：バスケットボールに多い外傷と障害—頭頸部外傷—。2008年度関東大学バスケットボール連盟安全講習会。

6月28日，東京，2008。

桜庭景植：トップアスリートの医科学サポート。

第9回金沢スポーツ整形外科イブニングセミナー。7月24日，金沢，2008。

桜庭景植：運動と外傷—過労性スポーツ障害—。

平成20年度後期 東京都医師会健康スポーツ医講習会。7月26日，東京，2008。

桜庭景植：運動療法とリハビリテーション—運動器疾患—。

平成20年度後期 東京都医師会健康スポーツ医講習会。7月26日，東京，2008。

桜庭景植；スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ—アスリートの外傷・傷害と対策—。

7月30日，東京，2008。

桜庭景植：トップアスリートの医科学サポート。

さいたまスポーツ医科学セミナー。8月22日，さいたま，2008。

桜庭景植：中高年者のための運動療法。

豊島区医師会講演，東京，11月1日，2008。

桜庭景植：トップアスリートの医科学支援。

船橋整形外科医会。11月20日，千葉，2008。

桜庭景植；スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ—アスリートの外傷・傷害と対策—。

11月23日，東京，2008。

桜庭景植：日常診療にみられるスポーツ障害。

地域スポーツクラブコーディネートに関する研修会。

11月29日，神奈川，2008。

【シンポジウムなど】

桜庭景植：トップアスリートとスポーツ医科学研究・医科学サポート。

日本整形外科学会，5月22-25日，北海道，2008。

日整会誌，82(3)；s409，2008。

【そのほか】

桜庭景植 監修 東京都医師会企画 教育研修ビデオ「日常診療における運動療法指導」2008

テレビ；テレビ朝日 報道ステーション 高橋尚子失速について

東レパンパシフィックテニス大会 トーナメントドクター 9月13-21日，2008。

今関 豊一

【著書】

1) 体育科・保健体育科の指導と評価—学年別でみる授業づくりの工夫— ぎょうせい 2009/4/1

新学習指導要領に対応させて、指導内容と実現状況の評価の視点で編著。授業実践例は、小学校低学年から中学校まで幅広く18例を取り上げ、授業直後と一ヶ月後の評価を行い検討した。

2) 小学校新学習指導要領の展開—体育科編— 明治図書 2009/3

渡邊 彰・今関豊一編著：小学校新学習指導要領に対応させて、従前の考え方と改善の方向性を踏まえつつ、体力及び技能から構成される身体能力とそれにかかわる知識並びに保健に関わる内容を明確にした指導の方向性を示した。(Ⅰ体育科改訂のねらいと要点, Ⅱ新しい体育科の目標と内容, Ⅲ指導計画の作成とポイント, Ⅳ体育・健康に関する指導, を担当)

3) 中学校新学習指導要領の展開—保健体育科編— 明治図書 2008/12

今関豊一・品田龍吉編著：中学校新学習指導要領に対応させて、体力の向上につながり実生活で生かすことができるようにすること、健康の保持増進のための資質や能力を育成する方向性を踏まえつつ、指導内容を明確にした授業の方向性を示した。(Ⅰ保健体育科の改訂のねらいと要点, Ⅱ新しい保健体育科の目標, Ⅲ新しい保健分野の目標と内容, Ⅳ指導計画作成上の留意事項, を担当)

4) 小学校教育課程講座—体育— ぎょうせい 2009/1/10

渡邊 彰・今関豊一編著：小学校学習指導要領に対応させて、体育科の指導において、指導内容を明確にし、身に付けさせることへの指導の充実や、知識や技能を活用する学習活動などへの指導の改善についてQ&A方式で解説。(1章 体育科の改善の基本方針, 2章 体育科の改訂の要点, 4章 指導計画作成上の留意点, を担当)

5) 中学校教育課程講座—体育— ぎょうせい 2009/1/10

今関豊一・岡出美則・友添秀則編著：中学校学習指導要領に対応させて、保健体育科の指導において、指導内容を明確にし、身に付けさせることへの指導の充実や、知識や技能を活用する学習活動などへの指導の改善についてQ&A方式で解説。(1章 保健体育科の改善, 2章 保健体育科の目標及び内容の変遷, 5章 指導計画の作成, 6章 保健体育科におけるこれからの学習指導の要点, を担当)

6) 小学校新学習指導要領ポイントと教育課程づくり—総則— 東洋館出版社 2008/12/10 P92~97

嶋野道広監修：小学校学習指導要領に対応させて、総則における「体力の向上や安全に関する指導の充実」について方向性を示す。

【専門誌・報告書等】

1) 保健主事研修プログラム作成のための方向性について(報告書), 2008/10 文部科学省「保健主事研修プログラム作成のための検討会」

保健主事の資質向上のための研修プログラム作成の枠組みについて、その方向性をとりまとめた。

2) 新学習指導要領に基づくこれからの小学校保健学習, 2009/2/18 (財)日本学校保健会「保健学習推進委員会」報告書

小学校体育科保健領域の学習指導について、新学習指導要領にもとづくこれからの授業のあり方について解説。(新学習指導要領における保健学習の内容の示し方について、保健学習における指導と評価, を担当)

3) 新学習指導要領に基づくこれからの中学校保健学習, 2009/2/18 (財)日本学校保健会「保健学習推進委員会」報告書

中学校保健体育科保健分野の学習指導について、新学習指導要領にもとづくこれからの授業のあり方について解説。(新学習指導要領における保健学習の内容の示し方について、保健学習における指導と評価, を担当)

4) 新学習指導要領が体育教師に求める新たな役割と力量 2008/7 体育科教育

指導力のある体育教師をめざして、学習内容を特定する手順として内容記述の視点を示した。

5) 「習得、活用、探究」の学習をどのように実践するか 2008/8 光文書院

新学習指導要領で求められている「知識を活用する学習活動を取り入れる」ことについて、習得、活用する学習活動、探究活動のとらえ方を整理し、学習指導においてどのように進めたらよいかを示した。

鈴木 勝彦

学会発表

健康寿命を見据えての若年女性における冷え性の実態と

生活習慣の検討(第2報)平成20年 民族衛生74(付録)

土屋 基 樋口和洋 鈴木勝彦 井上忠夫

中学, 高校, 専門学校, 大学から計41校8,040人の女子を調査対象にした。「冷え性群」と年齢が上がるにつれて食生活, 生活状況, 瘦身意識・行動が好ましい状況からかけ離れた。この生活が背景となり, 身体や精神の状況に反映されていた。

小学生における体組成の経年変化と性差

平成21年順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム一般発表抄録集 p. 36 鈴木勝彦 山田浩平

千葉市 M 小学校の依頼により2005年より2008年, 継続して体組成などを測定してきた。4年生からは急激な個人内の発達と性差が確認された。体脂肪は4年以上の女子で優位差がみられ, 除脂肪量はすべての学年で男子が優位であった。

その他

成体海馬のニューロンセイン新生率と相関のある血中分子の探索

順天堂医学2008. 54. 4. p. 525 石 龍徳 鈴木勝彦 劉印明

ラットにおける海馬のニューロンを新生を促進するホルモンについて分析した。増殖細胞マーカーのKi67抗体染色, アルドステロン, コルチステロンの測定で, 検討課題が残された。

小児てんかん患者のメンタルヘルスおよびスポーツ活動に関する検討

順天堂医学2008. 54. 4. p. 526 奥村彰久 飯島 恵 鈴木勝彦 西村あをい

長期の抗てんかん薬の内服患者からの回答率58%(15名)の分析。小学生の良性てんかん患者では運動能力が平均を下回る, うつ傾向や自尊心の低下などがみられた。

母体低タンパク質付加による胎児遺伝子発現変動の検討

順天堂医学2008. 54. 4. p. 530 丸山真由子 荒木慶彦 吉武 洋 伊藤 茂 鈴木勝彦

マウスの妊娠期間中に与えた, 低含有量カゼイン飼料による影響を各臓器の発現遺伝子から解析した。負荷群では178遺伝子が発現増加し, 40の遺伝子が減少した。妊娠母体低タンパク負荷は, 胎児の子宮内発育には大きな影響を与えないが, 特異的な遺伝子発現変動は誘導し得ることが示唆された。

松山 毅

【著書】

仲村優一・一番ヶ瀬康子・右田紀久恵編著, 社会福祉事典『エンサイクロペディア社会福祉学』2008年 中央法規出版

イギリスの社会福祉史について, 以下の項目を担当した。「イギリスの社会福祉① 中世封建社会のキリスト教慈善と慈善」p198-201

「イギリスの社会福祉② 旧救貧法と慈善事業・博愛事業」p202-205

精神保健福祉士国家試験対策研究会編『第10回精神保健福祉士国家試験 問題・解答・ポイント解説』2008年5月 中央法規出版

第10回精神保健福祉士国家試験の地域福祉論の解説及びポイントを執筆した。

【報告】

松山 毅・岩崎 香・広沢正孝「順天堂大学スポーツ健康科学部における精神保健福祉援助実習システムに関する検討」順天堂大学スポーツ健康科学研究第12号 2008年3月 p43-48

精神保健福祉士養成開始以来, 過去5年間にわたる精神保健福祉援助実習履修者の現場実習評価表の分析をもとに, 本学の学生の特徴と課題を明らかにし, 今後の実習教育システムの方向性を検討した。

社会事業史学会第2次歴史教育委員会編『社会福祉の歴史教育の現状と今後の展望』2008年5月

社会事業史学会における社会福祉に関する歴史教育の在り方に関する委員としてアンケート調査・授業実践を行い, 社会福祉歴史教育の現状を明らかにし, 今後の歴史教育の課題及び改善案を提起した。

青山 芳之

平成20年9月5, 6日に韓国春川市のGrangwon Universityで開催された「第4回 Chuncheon International Leisure Symposium Korea Society of Leisure and Recreation Session」において, シンポジストとして, 「日本におけるスポーツによる地域開発の現状と課題」について報告した。